

令和5年度
保育現場の魅力向上支援事業報告書
(研修型)

～③休憩の質の向上編～

保育現場の魅力向上支援事業 報告書

■保育園名 平尾保育園

■所在地 福岡市中央区薬院4-13-32

■定員 園児162名

■職員数 職員41名

■業務改善について、過去3年間で取り組んだことのある内容

- ・行事や保育以外の仕事等の分担の見直し、縮小
- ・早出、延長保育当番の仕事内容見直し
- ・全員休憩をとる
- ・定時で上がる為の業務削減



課題

休憩室を設置はしているが、正規職員は休憩室で休憩をとっていない。原因としては、保育書類や日々の保育の準備、行事の準備・片付け等の業務があり、休憩をとることが後回しになっている。また、保育室の子どもの対応(寝かせる・遊びを見守る等)がある為、保育室で短時間の休憩をとることになっている。全ての職員が保育の場から離れて、規定時間の休憩をとれるようにしたい。

打ち手

- ・毎日行っている昼礼を時間短縮する。(書面伝達で済む連絡事項は、連絡ノートや掲示板を利用する。子どもの事に関する職員が共有したい事柄を5分程度で伝え合う。)
- ・休憩のとり方についての無記名アンケートをとった。(休憩はとれているか、とれていない原因、全員がとるための方法案等)
- ・クラスリーダー主導のもと、クラス内で交代して取るように心掛けた。

取り組みの成果/感想

・アンケートをとることで、今まで休憩をとる習慣がなく、休憩より業務を早く終わらせたいという理由で休憩をとっていなかった職員が意識して休憩をとるようになってきた。また、クラスリーダーが声を掛けていったことで、ほぼ全員が取れるようになっていく。数名は取っておらず、日によってとれない日もあるので、現在残っている課題を再度発信して、全員で協力し合って定着させていきたい。この研修がきっかけになって、業務改善、軽減について全員で考え取組もうという雰囲気が出来た。今回研修中に行ったことを現場で実行できたことで、職員の意識が変わり、自分の職場を良くしようとする意欲が高まったように思う。これからも取り組みを続けていきたい。

保育現場の魅力向上支援事業 報告書

■保育園名	ほっぺるランド赤坂	■業務改善について、過去3年間で取り組んだことのある内容
■所在地	中央区赤坂1-11-18	
■定員	19名	
■職員数	正4名 非2名 補1名	
		・書類のデジタル化含む簡素化
		・休憩時間の質の向上 ・保育補助者の導入



課題

休憩時間の質の向上

(休憩時間をよりリフレッシュできるものにしたい)

打ち手

眠っている児のSIDSの部屋から離れて、保育室②でノンコンタクト
タイムを捻出

部屋を変わすることで、リフレッシュ出来ている

※写真の日は保育補助者が起きている児をみて、2人の職員は
同じ部屋ではあるがゆっくり休憩出来ている。

取り組みの成果/感想

午後の保育時間を穏やかな気持ちで過ごすことができる。

午前の肉体的な疲れ(主に腰痛・腕の痛み)が緩和される。午前を振り返ることで心の余裕が生まれ、午後の保育に生かすことができる。

休憩中に職員間のコミュニケーションも取れ、保育中のリレーションシップの構築に繋がる。

給食と0歳児の担任が同じ時間に休憩をとることで、離乳食の進み方、保護者支援の情報共有にも繋がる。